

2025 年 4 月 1 日

病理診断科では、「病理検体のアミロイドーシス病型診断コンサルテーション体制の構築（2025 年 4 月 1 日～主任施設および研究代表者変更継続）」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京女子医科大学理事長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	病理検体のアミロイドーシス病型診断コンサルテーション体制の構築（2025 年 4 月 1 日～主任施設および研究代表者変更継続）
研究代表者所属	信州大学医学部附属病院 第三内科
研究責任者(職名)	関島良樹(教授)
研究実施期間	研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日
東京女子医科大学 研究責任者	病理診断科 吉澤佐恵子
研究の意義、目的	アミロイドーシスの総合的診断体制を構築することにより、各施設における正確な早期診断と、診断に応じた最適な診療の実施を目指します。
対象となる方	2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日の期間に本学および共同研究機関にアミロイドーシス病型診断の依頼があった方
利用する診療記録／ 検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／病理組織検体
他機関から試料・情報の 提供を受ける方法	病理組織検体は郵送により提供を受けます。病理診断結果/集計結果は電子的配信により提供を受けます。
研究方法	抗体(開発したものおよび市販のもの)を用いて提供された病理組織検体の免疫染色を行ってアミロイドーシスの病型診断を行います。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	福井大学(責任者:内木 宏延)、熊本大学(責任者:植田 光晴)、東京科学大学(責任者:大橋 健一)、慶応義塾大学(責任者:遠藤 仁)、国立循環器病研究センター(責任者:畠山 金太)、京都府立医科大学(責任者:宮川 文)、日本医科大学(責任者:堂本 裕加子)、東京女子医科大学(責任者:吉澤 佐恵子)、東京都健康長寿医療センター(責任者:新井 富生)、公立小浜病院(責任者:山口 愛奈)
問い合わせ先	東京女子医科大学病理診断科 吉澤佐恵子

既存の病理検体を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の病理検体を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。